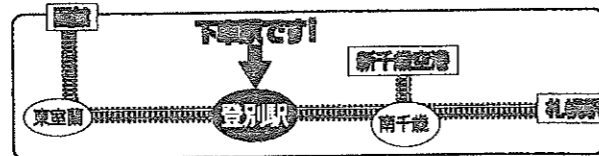


A National Forum of FOREST KINDERGARTEN in Hokkaido 2006

www.neos.gr.jp/morino_youchien/

交通のご案内

●公共交通機関をご利用の方●

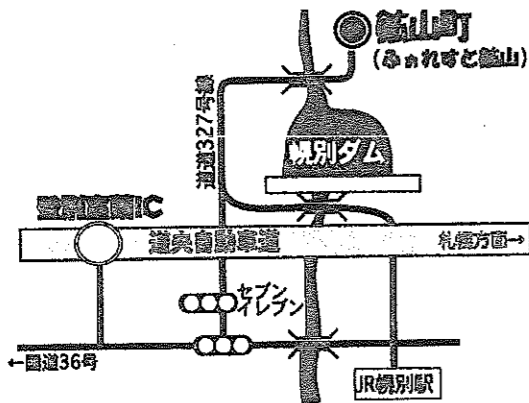


送迎用ワゴン時刻表

日	11/11	11/12	
登別駅	ふおれすと鉢山	登別駅	
発	着	発	着
10:25	11:00	15:10	15:40
11:10	11:40	15:45	16:15
11:45	12:15	16:30	17:00
12:50	13:20		

注

JR登別駅よりふおれすと鉢山までの公共交通機関はございません。当日については、下記の通り送迎用のワゴン車をご用意いたしますので、ご希望の方はあらかじめご連絡ください。



●車をご利用の方●

高速道路道央道・登別室蘭ICより幌別ダム～川上公園間の道道327号線（弁慶・幌別線）を鉢山町（山側）に向けて走りますと、行き止まり付近にふおれすと鉢山があります。（幌別ダムより約8km・約15分）

●その他手配●

遠方よりお越しいただく方のために、前泊・後泊の手配や航空券の準備をお手伝い致します。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

- 前泊・後泊について…ふおれすと鉢山、登別温泉、虎杖浜温泉、札幌・苫小牧などの近郊都市など、ご都合に合わせて準備することができます。（ふおれすと鉢山は前泊のみ）
- お忙しい方のために、航空券やJR切符などを、お手ごろ価格にて準備することが出来ます。希望される方は、別紙の申し込み用紙に必要事項をお書きの上、事務局にまでお知らせください。後日、担当スタッフよりご連絡いたします。

託児 OKです。

お子さま連れでもご参加頂けます。

子育て中でお悩みの方でも安心してご参加頂けるよう、小さなお子さまは「NPO法人子育て応援かざぐるま」のスタッフがお預かりする託児スペースを設けました。どうぞご利用下さい（事前申し込みが必要です）。また、大きなお子さまはふおれすと鉢山を取り囲む豊かなフィールドがお引き受けいたします。

お問い合わせ・お申し込みはこちらまで

NPO法人
ねおす

〒064-0952 北海道札幌市中央区宮の森2条14丁目1-14

TEL/ 011-615-3923 FAX/ 011-615-3914

URL: www.neos.gr.jp/ E-mail: npo@neos.gr.jp (代表アドレス)

森のようちえん全国フォーラム事務局 宛

お気軽にどうぞ！

※本フォーラムでは、学校教育法における幼稚園の名称ではなく、自然を取り入れた幼児教育について認識を深めるためのひとつの事業形態についてようちえんという名称を使用しています。



A National Forum of
FOREST KINDERGARTEN
in Hokkaido 2006
2006 11/11~12
at Naboribetsu city nature center FOREST KOZAN

全国交流フォーラム
in 北海道

のようちえん

森のようちえん全国交流フォーラム in 北海道

■森のようちえんのための次の一歩は??

今やますます重要視されるのが幼児教育。そこに自然体験をジョイントさせた森のようちえんは、これからもっともっと注目される存在になるはず。これから森のようちえんを展開していく上で、私たちは何を学び、何をすべきなのでしょうか…?

日時 2006/11/11 (sat) 13:00 ~ 12 (sun) 15:00

場所 登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山 (北海道登別市鉱山町8-3)

対象 & 定員 ■自然の中で子育てをしたいと思っているお父さんやお母さん、保育士さんや学生さん。すでに森のようちえんを実践されている方や、子育てをしていなくても興味や関心のある方ならどなたでも参加できます。

■定員は、先着 60 名様 となります。お早めにお申し込み下さい。

費用 ■参加費：2,000円
■宿泊費：6,000円 (ふおれすと鉱山泊 二段ベッドによる簡易宿泊です) 14,000円 (登別温泉ホテル泊)
※どちらかご希望される宿泊先をお選びください。 ※料金には11日の夕食、12日の朝・昼食費が含まれています。

主催 NPO法人 ねおす

後援 登別市・登別市教育委員会

協力 森のようちえん全国フォーラム実行委員会
登別市ネイチャーセンター ふおれすと鉱山
NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ

フォーラム実行委員会のみなさん

このフォーラムは以下の方による実行委員会によって組織・運営されています。

- 安原 政志 (NPO法人自然教育促進会)
- 齊藤 千代 (札幌大谷第二幼稚園)
- 山田 智子 (NPO法人子育て応援かざぐるま)
- 森谷 直樹 (私立文化女子大学室蘭短期大学)
- 山本 幹彦 (NPO法人当別エコロジカルコミュニティ)
- 木村 義恭 (登別私立幼稚園協会)
- 松原 條一 (NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ)
- 長谷川 右 (平和幼稚園・NPO法人冒険クラブ)
- 澤田 時人 (登別市教育委員会)
- 遠藤 潤 (登別市ネイチャーセンターふおれすと鉱山)
- 田中 住幸 (NPO法人あそベンチャースクール)
- 宮本 英樹 (NPO法人ねおす)

※順不同・敬称略

学校法人いづな学園 子どもの森幼稚園

■内田 幸一
和光大学人文学部卒。私立雪谷さくら幼稚園を経て1983年長野県飯綱高原に子どもの森幼児教室を開校、2005年に学校法人いづな学園を創設し、こどもの森幼稚園、グリーン・ヒルズ小学校を運営している。現在は中学校の開設を目指し、フリースクール中学部を始動。

野外教育森の子・シャロムヒュッテ

■白井 朋子
シャロムコミュニティの一員として専業を展開する一方、未就園児親子のおさんぽの会代表を務める。2002年「野外保育森の子」を立ち上げ、園児が毎日森で過ごす場を作り上げた。

札幌平和幼稚園・NPO法人冒険クラブ

■長谷川 右
幼児のための自然体験活動を推進するために「冒険クラブ」「冒険クラブ小学部」を設立。2006年にNPO法人冒険クラブとして新たなスタートを切る。平和幼稚園園長。

札幌大谷第二幼稚園

■齊藤 千代
野外で子育てをするボランティアサークル「みちくさの会」を設立、後に幼稚園の勤務の中で一貫して自然の中で五感を育て、命の尊さを体験する活動を、毎日実践している。札幌大谷第二幼稚園園長。



プログラムスケジュール

1日目 森のようちえんを知る

- オープントーク
「今の時代だからこそ、森のようちえんを！」
講師：内田 幸一さん
- リレートーク
「こんなにある、森のようちえんのスタイル」
・自主保育からのアプローチ
野外保育 森の子 (白井 朋子 さん)
春日井もりのようちえん (嶋田 敦子さん 小林 直美さん)
- ・幼稚園からのアプローチ
札幌大谷第二幼稚園 (齊藤 千代 さん)
平和幼稚園・NPO法人冒険クラブ (長谷川 右 さん)
- ・自然学校からのアプローチ
くりこま高原自然学校 (佐々木 豊志 さん)
NPO法人ねおす (西登 将世 さん)
- ・外国の事例あれこれ
くりこま高原自然学校 (馬渡 達也さん 塚原 俊哉さん)
- 夕食 & 情報交換会
「他にもある、いろいろなやり方」
みなさんの活動を紹介して下さい！ポスター展示、資料配布、スライドショーなどなど、お待ちしております！
(事前にお申し込み下さい)

2日目 森のようちえん 次の一手

- 分科会
「あなたにとっての次の一手は？」
- 全体会
「森のようちえんにとっての次の一手は？」
コーディネーター：宮本英樹 (NPO法人ねおす)

エクスカージョン

せっかくの北海道です。自然を楽しみつつ、味覚を楽しみつつ、北海道の事例視察を兼ねた欲張りエクスカージョンをご用意しました。
■参加費：20,000円 (12日宿泊・食事代込み)
※13日のみ参加：9,000円

※別紙の申し込み用紙に、希望する分科会をご記入ください。

分科会の内容

- ① 幼児教育の中にもっと自然遊びを…
～科学あそびを取り入れた活動と森のようちえんの効用を探る～
森歩きや自然の中での自由な発想を主体とする遊びは高い教育効果が期待できるでしょう。その本筋を今一度確認し、科学性を身につけ、自信を持って遊びを展開できる人になりませんか？
コーディネーター (Co)：安原 政志さん (自然教育促進会)
- ② 幼児の理解を深めてすすめる「森のようちえん」
～保育現場での「森のようちえん」実践例～
自然体験は大切だけど、保育現場で展開するのは大変。一方、自然体験活動指導者にとっても、保育は分からないことだらけ。幼児を理解し、お互いの弱点を補う方法について、現場で活躍されている方を交えて考えます。
Co：山田 智子さん (かざぐるま) 長谷川 右さん (冒険クラブ)
- ③ 子どもとあそびと森のチカラ ～森のようちえんが生み出した地域づくり～
ふおれすと鉱山で行われている「森のようちえん」は、そこに関わる親子だけでなく、地域の学生さんたち、おとなたちをも巻き込んでしまった。実際に、森のようちえんを参観し、事例をもとに地域づくりの視点も入れて、ディスカッションを深めます。
Co：森谷 直樹さん (文化女子短大) 松原 條一さん (モモンガ) 遠藤 潤さん (ふおれすと鉱山)
- ④ 森のようちえんのための「場」を創るためには？
～森のようちえんをやるためのフィールドを確保するには～
いくら良い活動を考えてもそれができる「場所」がないと実現しませんよね。そこで、フィールドからのアプローチとして森林所有者である公有林や森林関係の人を頼り、場を提供するための道筋を考えます。
Co：宮本 英樹さん (ねおす)
- ⑤ 森のようちえんを運営するには？～あなたが経営者！模擬体験してみよう～
森のようちえんはどうしたら運営できるのでしょうか。税理士や商社勤務経験のある幼稚園関係者の方と労務管理から会計・経理に至るまで、具体的な内容を出しながら、情報・意見交換してみたいと思います。
Co：田中 住幸さん (あそベンチャー) 澤田 時人さん (登別市教委)

エクスカージョンの内容

- ① 札幌の原生林とそこで展開される森のようちえん
～円山散策と札幌大谷第二幼稚園を訪ねる旅～
12日：大会終了後、北海道の海・山の幸を満喫するレストラン夕食
13日：登別(8:00)～支笏湖～天然記念物の札幌円山原生林散策～昼食(スープカレーor ラーメン)～札幌大谷第二幼稚園見学～千歳空港(16:30)
- ② エコビレッジの中で子どもを育てる
～北限のふな林散策と黒松内ふなの森自然学校を訪ねる旅～
12日：大会終了後、北海道の海・山の幸を満喫するレストラン夕食
13日：登別(8:00)～北限のふな林散策(ふなの森自然学校スタッフによるガイド)～黒松内町とふなの森自然学校見学～洞爺湖～支笏湖～千歳空港(17:00)

NPO法人 くりこま高原自然学校

- 佐々木 豊志
くりこま高原自然学校を設立し、持続可能な自然と共生する平和で豊かな暮らしを創造できる人と社会づくりの一環として森のようちえんに取り組んでいる。
- 馬渡 達也
幼児から高齢者を対象とした豊富な現場経験を、自然体験活動のプログラム企画・提供に活かす実践中。
- 塚原 俊哉
2005年にドイツとデンマークの森のようちえんを視察。森のようちえん他、様々な活動を通じて幼児から青年を中心に幅広い世代と関わっている。

春日井森のようちえん

- 小林 直美
1992年自然の中で子育ての魅力に気づき、自主保育の会を立ち上げた。2004年「春日井森のようちえん」を立ち上げた。愛知県春日井市で親子自然体験活動「森のたんけんたい」を主宰。
- 嶋田 敦子
育児サークルの先輩と自然の中で子どもを育てたいと願い、2004年秋に自主保育「春日井森のようちえん」を発足させる。

今やますます注目される幼児教育。
そこに自然体験をジョイントさせた「森のようちえん」は、
これからもっともっと重要な存在になるはずです。

これから森のようちえんを展開していく上で
私たちは何を学び、何をすべきなのでしょう…？

森のようちえん全国交流フォーラム in北海道 報告書

A National Forum of
FOREST KINDERGARTEN
in Hokkaido 2006

独立行政法人
福祉医療機構
(子育て支援基金)
助成事業

森林のようちえん

全国交流フォーラム in北海道

2006 11/11~12
at Noboribetsu city nature center FOREST KOZAN



NPO法人 **ねあす** : 編

回覧

持ち出し禁止

資料提供: